



令和7年度 檜原村立檜原中学校 学校経営方針(概要版)

ビジョン

《一人一人が自分の花を咲かせる学校 ウェルビーイング檜中》

- 生徒も教師も高め合える学校 ～檜中で学べて良かった・檜中で働けて良かった～
- 保護者・地域から愛される学校 ～檜中に通わせて良かった・檜中があって良かった～

学校教育目標

◇ 学び考える人

【主体的に学ぶ力】 自ら学ぶ姿勢を身に付け、課題解決することができる生徒

◆ 心の豊かな人

【主体的に判断する力】 自ら考え、他者の意見を聞き、判断することができる生徒

◇ たくましい人

【健やかな心身を育成するための実践力】

心身ともに健康であり続けるために、何事にも挑戦し、自らを鍛えることができる生徒

檜原学園教育目標

第3期計画5年目(最終年)

檜原学園に学ぶ一人一人が、郷土檜原の誇りを胸に、9年間の学びを深め、持続可能な社会の創り手となり、希望に満ちた世界を創る人材(グローバル人材)となることを目指し、ここに学園教育目標を定める。

「学びをつないで、持続可能な社会の創り手を育てる」

〈学園訓〉 つなぐ つなげる つながる



目指す学校像

- (1) 基礎・基本を確実に身に付け、活用できる力を育む学校
- (2) 檜原村を愛し誇りに思い、豊かな人間性を育む学校
- (3) たくましく生きるための健康や体力を育む学校

目指す教職員像

- (1) 生徒に寄り添い、深く、正しく理解し、生徒のよさや可能性を引き出す教職員
- (2) 生徒と共に学び、自らも授業力向上に努める教職員
- (3) 教育公務員としての責任感と誇りをもち、組織的に職務を遂行する教職員

目指す生徒像

(1) 自ら学ぶ檜原中の生徒

基礎・基本を確実に身に付け、確かな力を育む教育活動を実践する。

◎小中一貫教育、檜原学園第三期計画(5年目)に基づき9年間を見通した指導の実践と検証

・小学校との合同行事、合同学習や交流学习
・授業交流や連携、檜原学園学習スタンダードの確立と実践

・9年間の系統性・連続性を意識した取組

○生徒の学力向上を図る取組

(1)教科横断的な学習の充実、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る

(2)「書く力」読解力「コミュニケーション力」

等を育成させる取組を設定

(3)「情報活用能力」を育成

◎特別支援教育の充実

・困難を抱える生徒のニーズに応じたインクルーシブ教育への取組

・ユニバーサルデザイン(教室環境)の充実

・特別支援教育に関する研修会などへの参加

○教職員の資質・能力の向上

・全国教員研修プラットフォーム(Plant)の活用
・都教職員研修センターや多摩教育事務所などが主催する研修会への参加

・研修会の報告(振り返り)の共有(還元研修)

・学校におけるOJTの推進(ミニ研修会等)

○校内研究(2年目 令和6・7年度)

「振り返りを重点とした指導と評価の一体化」

(2) 明るく素直で、感性豊かな檜原中の生徒

檜原村を愛し誇りに思い、豊かな人間性を育む教育活動を実践する。

○ふるさと檜原学習の充実(なごう未来の郷土プロジェクト)

・「総合的な学習の時間」の再構築と充実

・檜原メソッドによる協働的探究学習を推進

・思考ツール(学習マップ等)の活用

・自分なりに方法を選択して解決に取り組む

・生徒会活動の充実、生徒の自治力向上

◎キャリア教育の充実

・自分らしい生き方を実現できる力を育成

・小学校での学びをつなぎ、主体的に参画する態度を育む

・キャリア・パスポートを活用し実感を伴った学びを推進、キャリア探索プログラムの更なる充実により幅広い視野に立って自らのキャリア形成を考える力を育成

◎人権教育の推進

・自己肯定感、自己有用感を高め、他者を思いやり、自他の生命を尊重する教育活動の推進

・常に確認と振り返りを行い男女平等教育を実施

・人権教育推進担当教員による公開授業や研修

◎心の教育の推進

・「考え、議論する道徳」、全教員で対応した授業

・道徳授業地区公開講座の更なる充実

・道徳授業推進教師による公開授業や研修

◎郷土や日本の伝統・文化及び国際理解教育の推進

・鑑賞教室(R7:演劇 R8:古典芸能 R9:音楽)

・国際交流会、村海外派遣事業、郷土芸能鑑賞教室、TGG等

○学校図書館の活用と環境の整備

・図書館指導員と委員会の協働

(3) 元気な体をつくる檜原中の生徒

たくましく生きるための健康や体力を育む教育活動を実践する。

○学校生活全般を通じた体力の向上に特化した教育活動の推進

・東京 ALPHA システムの活用

・実技指導に専門的競技経験選手を招聘

・体力・文化向上に向けた取組

・学園運動会、マラソン大会、学習発表会

・スポーツの多様な楽しみ方を学ぶ体育授業の実践と生徒会、委員会によるイベントの実施

○校内の教育相談体制の充実と外部機関との連携

・生徒一人一人に応じた指導の充実

◎健全育成の充実

・いじめの未然防止、早期発見と、生徒の主体的な行動を促す取組と「チーム檜中」の推進

・健康・安全に関する学習の充実

SOSの出し方に関する教育、防災教育、セーフティ教室

生命の安全教育、情報モラル教育、がん教育講演会

学校2020レガシー、東京2025デフリンピックに関する事項

薬物乱用防止教室、不審者対応訓練、歯科指導、食育等

○部活動の充実

・陸上競技部、吹奏楽部

○放課後活動の充実

・帰属意識を高める活動の実施

・余暇活動を通じての心身の安定

その他

○学校広報活動の充実

・学校の様子の配信(保護者限定公開)

・学校だより、学年だより等の広報活動の充実